【授業科目】特別研究Ⅰ（産業看護学）　Master's Thesis Ⅰ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
後藤 由紀、柴田 英治、大谷 喜美江	１年次 後　期	選　択	２	６０	演　習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	産業看護学領域における課題を取り上げ、関連文献の検索、文献検討を行い、自分の研究課題を明確にし、研究方法を選定できるように、学生と議論しながら助言、指導する。授業は実務家教員（後藤、柴田、大谷）が進める。 課題に対するフィードバック方法／演習中に課題について学生とともに検討し、学生にコメントする。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシーの①、③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	１.文献検索･文献検討を行い、研究課題を発見し明確化できる。 ２.探求したい研究課題に関して、研究デザインを明確化できる。 ３.研究課題を解明するため適切な研究方法を選択できる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	研究テーマに関連する国内外の文献を幅広く検索し、文献検討を行い研究に反映できるようにして臨む。（各 120 分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／１回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第 1～10 回　それぞれの学生が関心をもっている領域の文献の批判的検討 第 11～15 回　研究課題の検討 探究したい問いや現象が研究課題となりうるのかの検討 第 16～25 回　研究方法の検討 １）探究したい研究デザインについての検討 ２）探究したい現象についてのデータ収集方法の検討 ３）探究したい現象についての研究での倫理的配慮の検討 ４）探究したい現象の具体的なデータ収集方法の検討 （質問項目作成、インタビューガイド作成など） 第 26～30 回　研究計画書の企画
	全て 後藤 柴田 大谷
評価方法 評価基準	演習における積極性および課題取り組み状況などを踏まえ、研究計画書を総合評価する。
教科書	適宜紹介する。
参考書等	適宜紹介する。